



様式第7号

議長	副議長	局長	次長	主幹	係長	

行政視察報告書

令和 8 年 3 月 6 日

笠岡市議会 議長 殿

(出張者) 議員 太山 盛久 (印) 議員 山本 聡 (印)
 議員 西山 博行 (印) 議員 (印)
 議員 (印) 議員 (印)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

※ 視察 ①～④は関連するため、一括で報告します。

【1】 株式会社JTB 他からの企業版ふるさと納税スキームを活用した地域活性化にむけた提案

住 所	東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング26階
電 話	03-5909-8062
視察案件	企業版ふるさと納税を活用した笠岡諸島アクアマリンスタジアム構想の聞き取り、打合せ
期 日	令和 8 年 1 月 14 日 (水) 14 時 00 分 から 16 時 30 分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり (株式会社JTB ビジネスソリューション事業本部矢澤氏他7名)
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	新宿三井ビルディング26階、JTB 第三事業部 大会議室
概 要	提案のあった笠岡諸島アクアマリンスタジアム構想の概要聞き取り、及び笠岡市島嶼部での課題、今後の取り組み方針等説明 (企業版ふるさと納税活用案件) 瀬戸内を中心にした関係人口創出のための施策、今後の検討課題等意見交換。 今回事業概要の説明を受け、笠岡市の課題解決に向けた第一歩をどこから始めるか、どんな手法がとれるか、資金計画含め検討。 (山本のみ出張)
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】

住 所	笠岡市真鍋島
電 話	
視察案件	笠岡市真鍋島 現地視察
期 日	令和 8年 2月 18日 (火) 14 時00分 から 18時00分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり 株式会社 GLOCA 代表取締役 加藤 学氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	真鍋島 円福寺 (応接室) 2月19日、9時 笠岡市長 面談 (その後、佐藤、小林、塚本 各部長面談)
概 要	JTB、矢澤氏、グローバル加藤氏による真鍋島現地視察、及び笠岡市長、執行部への株式会社JTBによる笠岡諸島マリスタジアム構想スキーム概要の説明。 (市長室同席者 大山、山本、西山各議員 のち、佐藤、小林、塚本各部長)
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【3】

住 所	東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング26階
電 話	03-5909-8062
視察案件	笠岡諸島、笠岡市長面談を受け、笠岡市課題解決に向けたスタジアム構想 概要把握
期 日	令和 8年 2月 26 日 (木) 14 時00分 から 16時00分 まで
応 対 者	JTB 矢澤氏、柿沼氏、北尾氏、ディレクトフォース段谷氏、菅原氏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	新宿三井ビルディング26階、JTB 第三事業部 ミーティングルーム
概 要	1月14日の山本議員によるJTB訪問を皮切りに、2月のJTB矢澤氏、グローバル加藤氏の真鍋島訪問、翌日19日の栗尾市長表敬訪問、その後の佐藤部長、小林部長、塚本部長との情報交換を経、笠岡市の課題の一つの貫読講堂存続に係る方向性について、資料をもとに新たにディレクトフォース段谷氏を迎え、JTB様本社にて情報交換を実施。大手建設会社様ふるさと納税の可能性含め、貫読講堂の在り方を議論。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【4】

住 所	東京都港区元赤坂 1-4-1
電 話	03-3470-5656
視察案件	歌手、田原俊彦氏とのJTB構想についての参加打診、及び協議日程の調整
期 日	令和 8年 2月 27日(金) 10時00分から 11時00分まで
応 対 者	P&D、向田女史(名刺なし)、及び引馬プロデューサー
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	P&D 元赤坂音楽事務所
概 要	<p>昨年1月に東京出張の際、疋田氏との面談において地元笠岡の活性化について打診する中でP&D事務所が制作するテレビ朝日BS歌番組“人生歌がある”について、疋田氏プロデューサー(制作責任者)の権限内において出演歌手の笠岡諸島詣でを企画。</p> <p>今回のJTB企画による島しょ部活性化の企画が進められていたものを、正式に田原氏事務所(ジェイブレイブ)との交渉をP&D社を通して打診いただく依頼の、表敬訪問。</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

所感	<p>企業版ふるさと納税は単なる寄付制度ではなく、自治体と企業がともに価値を創造していく共創の仕組みにて、今回提案のあった笠岡島嶼部を活用したアクアマリンスタジアム構想は、市がかかえる島嶼部の課題解決(廃校の利活用、空き家対策、観光振興)に寄与する、画期的な提案と考えています。同時に陸地部の、当面の懸案事項である貫読講堂の在り方、及び利活用をするためのスキームの提案がJTB側から申し出ており、並行して企業版ふるさと納税を活用した、課題解決づくりに取り組むものです。</p> <p>① については、申し出のあった件について、まずはスキーム確認と関係する事業者の把握、及び笠岡市にとってのメリットの確認、及び市への波及効果の可能性を伺いに訪問。</p> <p>② については、先方(JTB等事業連合)からの申し出にて、笠岡諸島、真鍋島の今の姿、島民の声(意見)など、情報収集。</p> <p>③ は、笠岡市長、及び庁内関連部長との面談後のJTB側からの再提案について、議員間の意思疎通を含め、JTB本社へ訪問し、情報のすり合わせ、取り組み方の検討、将来可能性など含め、意見交換。</p> <p>④ は従前より提案のあった田原氏とのコンタクトについて、氏らによる島嶼部への関与が、関係人口創出につながる、との考えから言質をとりに事務所訪問。</p> <p>今回のスキームを活用した提案は、取り組むことによる「学び」の機会創出と、人材育成、郷土愛の醸成、住民、島民の暮らしの質の向上等、市が飛躍できるチャンスととらえることができます。</p>
----	---